

表2 平成17年4月3日現在のHIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	異性間の性的接触	1,266	416	1,682	258	674	932	1,524	1,090	2,614
	同性間の性的接触 ^{*1}	2,521	1	2,522	182	0	182	2,703	1	2,704
	静注薬物濫用	17	1	18	16	2	18	33	3	36
	母子感染	13	7	20	3	7	10	16	14	30
	その他 ^{*2}	71	28	99	18	13	31	89	41	130
	不明	431	57	488	254	478	732	685	535	1,220
	HIV合計	4,319	510	4,829	731	1,174	1,905	5,050	1,684	6,734
AIDS患者	異性間の性的接触	1,000	123	1,123	180	135	315	1,180	258	1,438
	同性間の性的接触 ^{*1}	791	1	792	78	2	80	869	3	872
	静注薬物濫用	8	1	9	13	0	13	21	1	22
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 ^{*2}	49	13	62	15	8	23	64	21	85
	不明	486	51	537	252	113	365	738	164	902
	AIDS合計 ^{*3}	2,343	192	2,535	539	262	801	2,882	454	3,336
凝固因子製剤による感染者 ^{*4}		1,416	18	1,434	-	-	-	1,416	18	1,434

*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*3 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。

*4 「血液凝固異常症全国調査」による2003年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数
(生存中のAIDS既発症者数167名及び死亡者数564名を含む)

死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成17年3月31日)	197 名
エイズ予防法 ^{*5} に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596 名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 ^{*6}	564 名

*5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

*6 「血液凝固異常症全国調査」による2003年5月31日現在の報告数